

## 血液病学

責任者・コーディネーター	血液腫瘍内科分野 石田 陽治 教授		
担当講座・学科(分野)	小児科学講座、血液腫瘍内科分野、腫瘍内科学科		
担当教員	遠藤 幹也 准教授、石田 陽治 教授、伊藤 薫樹 教授、小宅 達郎 講師 古和田 周吾 講師、照井 康仁 非常勤講師、湯尻 俊昭 非常勤講師 張替 秀郎 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数	講義 33.0 時間
期間	後期		

### ・学習方針（講義概要等）

学生は血液学の基礎的事項を解剖学、組織学、生理学、生化学さらには病理学などですでに履修している。そこで第3学年においては、履修済みの基礎血液学とこれから新たに学習する臨床血液学とを一連の流れとして結び付け、まず基礎血液学に立脚した各種血液疾患の概念と病態生理を理解する。さらに個々の疾患に対して現在行われている治療法とそれに伴う疾患予後、そして治療に関する将来展望までを一貫して理解することが求められる。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### ・教育成果（アウトカム）

健常者における血液細胞の種類、機能、動態および病的状況下におけるそれらの変化に関する知識を整理する。医師として必要な血液学の基本的知識、病態の把握、治療法などの理解を深め、それらに基づいて様々な応用できる思考能力を養う。これらから自覚症状、検査所見から病態を推察し、頻度の高い疾患の診断を行い、基本的治療方針を思い描ける状態に到達する。

### ・到達目標（SBO）

第1段階：  
すでに学習している血液の組成とその生体作用、血液細胞の正常の産生ならびに分化・成熟過程とそのコントロール機構、各成熟段階の正常血液細胞形態を説明できる。次いで各血液細胞系の検査法とその病態解析への応用、ならびに血液凝固メカニズムを説明できる。

第2段階：  
小児と成人における血液疾患個々の概念、疫学、臨床病態、治療法、ならびに予後について疾患各論の立場から理論的に説明できる。また、現在一般に行われている血液疾患の治療法の中で最も先進的である造血幹細胞移植についての説明ができる。

第3段階：  
主要な血液疾患について実際の定型例を提示する。それについて自らが各疾患の発症パターン、診断の方法とその根拠を述べ、個々の症例に対する治療戦略を立てることができる。

・ 講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/29	火	3	血液腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	血液病学,赤血球総論 (概念・貧血の分類・症状・鉄代謝) 総論
9/29	火	4	血液腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	赤血球①小球性貧血; 鉄欠乏性貧血 (概念・疫学・病態生理・症状・検査・治療・予後) 鉄芽球性貧血 (概念・疫学・病態生理・症状・検査・治療・予後) 二次性貧血 (概念・疫学・病態生理・症状・検査・治療・予後) サラセミア (概念・疫学・病態生理・症状・検査・治療・予後)
10/6	火	3	血液腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	赤血球②正球性正色素性貧血 骨髄不全症 再生不良性貧血、赤芽球ろう ; 概念・疫学・病態生理・症状・検査・治療・予後 溶血性貧血 自己免疫溶血性貧血、遺伝性球状赤血球症、赤血球酵素異常症、ヘモグロビン異常症、発作性夜間血色素尿症 (概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後)
10/6	火	4	血液腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	大球性貧血 巨赤芽球性貧血 (概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後)
10/13	火	3	血液腫瘍内科分野	古和田 周吾 講師	出血傾向; 止血機構・出血性素因の検査・出血傾向を生じる疾患
10/13	火	4	血液腫瘍内科分野	古和田 周吾 講師	止血・凝固異常症 血小板異常による出血性疾患 特発性血小板減少性紫斑病 (概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後) 血小板機能異常症 (概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後)

10/20	火	3	血液腫瘍内科分野	古和田 周吾 講師	凝固因子欠乏 血友病 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後） ビタミンK欠乏症 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後） 循環抗凝固因子 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後） 播種性血管内凝固症候群 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後） 血栓性血小板減少性紫斑病 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後） 溶血性尿毒症症候群 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後）
10/20	火	4	腫瘍内科学科	伊藤 薫樹 教授	急性白血病 急性骨髄性白血病 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後） 急性リンパ性白血病 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後）
10/27	火	3	血液腫瘍内科分野	小宅 達郎 講師	造血幹細胞移植（前処置・移植ソース・GVHD）、免疫療法
10/27	火	4	血液腫瘍内科分野	小宅 達郎 講師	悪性リンパ腫 ホジキンリンパ腫 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後） 非ホジキンリンパ腫 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後） 成人T細胞性白血病リンパ腫 （概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後）
11/11	水	3	腫瘍内科学科	伊藤 薫樹 教授	骨髄異形成症候群 概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後
11/11	水	4	血液腫瘍内科分野	湯尻 俊昭 非常勤講師	慢性骨髄増殖性疾患：慢性骨髄性白血病（概念・疫学・病態生理・症状・検査・治療・予後）。真性赤血球増加症（概念・疫学・病態生理・

					症状・検査・治療・予後)。本態性血小板血症（概念・疫学・病態生理・症状・検査・治療・予後）。骨髓線維症。
11/18	水	3	血液腫瘍内科分野	張替 秀郎 非常勤講師	赤血球（概念・貧血・症状・鉄代謝など）
11/18	水	4	血液腫瘍内科分野	石田 陽治 教授	血液病その他。
11/25	水	3	腫瘍内科学科	伊藤 薫樹 教授	リンパ性増殖性疾患 成人T細胞性白血病 慢性リンパ性白血病（概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後）
11/25	水	4	血液腫瘍内科分野	照井 康仁 非常勤講師	多発性骨髄腫（概念・疫学・病態整理・症状・検査・治療・予後）
12/2	水	3	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 総論 1
12/2	水	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 総論 2
12/9	水	3	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 1
12/9	水	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 2
12/16	水	3	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 3
12/16	水	4	小児科学講座	遠藤 幹也 准教授	小児の血液疾患 4

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	標準血液病学	池田康夫、押味和夫 編	医学書院	2000
参	三輪血液病学 3 版	大野仁嗣ほか編	文光堂	2006

・成績評価方法

試験成績 100%により評価する。

・特記事項・その他

- ①. 血液病学総論
- ②. 小球性貧血
- ③. 正球性正色素性貧血
- ④. 大球性貧血
- ⑤. 急性白血病
- ⑥. 骨髄異形成症候群
- ⑦. 成人T細胞性リンパ腫・白血病、リンパ性増殖性疾患（慢性リンパ性白血病等）
- ⑧. 造血幹細胞移植・免疫療法
- ⑨. 悪性リンパ腫
- ⑩. 出血傾向（総論）
- ⑪. 血小板異常症
- ⑫. 凝固異常症（播種性血管内凝固症候群等）
- ⑬. 小児の血液疾患総論 1（造血器と成長）
- ⑭. 小児の血液疾患総論 2（造血器の先天異常）
- ⑮. 小児の血液疾患 1（Rh 不適合輸血など）
- ⑯. 小児の血液疾患 2（先天性の貧血など）
- ⑰. 小児の血液疾患 3（小児急性白血病など）
- ⑱. 小児の血液疾患 4（先天性免疫不全など）
- ⑲. 多発性骨髄腫
- ⑳. 慢性骨髄増殖性疾患（慢性骨髄性白血病を含む）
21. 赤血球疾患
22. その他

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
	コンピュータ		講義
	プロジェクター		講義（アトラス）